

ご利用ください!!

住民参加型 まちづくりファンド事業 第2回 補助事業募集

市民参加による協働のまちづくりをめざして!

『住民参加型まちづくりファンド事業』の第1回募集に申請のあった事業について、7月7日に選定委員会を開催し、右記の3件を補助対象に採択しました。

なお、補助金の設定総額が本年度の予算額に達していないため、第2回目募集を行います。市民のみなさんの活動や視点を活かした、魅力的で個性豊かなまちづくり事業の提案をお待ちしています。

事業の概要

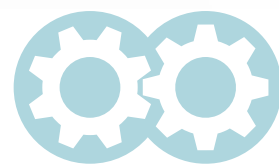
- ▶ **補助対象者** = 市民活動を行う市民団体、ボランティアグループ、NPO、自治会など。
- ▶ **補助対象事業** = 地域の魅力づくりや活性化に寄与することが期待できる事業。
- **ソフト事業**…ハード事業を実施するための団体設立活動及び調査・研究などの活動
- **ハード事業**…市民活動団体等が行うまちづくり活動に伴う施設等の新設、改修、保全など
- ▶ **補助金額**
- **ソフト事業**…事業費の1/2以内で5万円を上限とします。
- **ハード事業**…事業費の3/4以内で500万円を上限とします。

応募方法

- ▶ **申請書類交付窓口** = 企画課、各支所総務課 ※なお、書類は市役所ホームページからもダウンロードできます。
- ▶ **募集期間** = 8月1日(金)から9月1日(月)まで
- ▶ **受付・相談窓口** = 企画課市民協働推進グループ 内線490

「市民協働のまちづくり基本指針」を策定しました。

基本方針では、市民との協働を進めていくための基本的な考え方や市民協働を進めるための基本施策などについて定めています。基本方針の内容につきましては、今後、広報紙で市民のみなさんにご紹介していく予定です。■企画課市民協働推進グループ 内線490



編集後記

そろそろ梅雨が明け本格的な夏の到来か、パソコンの放熱による暑さとの戦いの始まりだ。『苦あれば楽あり・。』発汗によるメタボ対策とビールの旨さに一役も二役も買っている。(も)

輝く人で紹介した加藤さんたちは、女性の人権活動にも力を注ぐ。「茨城弁で語る女性差別撤廃条約」は県内50か所以上で公演。難しい問題を身近な言葉で語ると評判だ。機会があればぜひ。(ま)

村田小で盆栽の指導をしている塚田さん。盆栽というと年配者の趣味というイメージが強いが、最近では、海外の若者の間でも粋な趣味として注目され始めている。私も始めてみるか…(か)



キョウチクトウ(夾竹桃)葉がタケ、花がモモに似ているのでこの名がつけました。夏の青空に桃色の花が映えます。

第1回まちづくりファンド事業に採択した団体を紹介します。

つばさ里山公園公共用便所設置事業

▶ NPO法人つばさ

つばさ里山公園では、障害者・家族・青少年・ボランティア・地域住民が、花見やキャンプ、バーベキューなどで、集い楽しむことができる公園整備を行っています。その公園内に公共用便所を設置します。



勤行川左岸に桜と季節の花を植える事業など

▶ 勤行川の花と緑とホタルと鮭を育て守る会

勤行川左岸を中心に、桜や花を植え、田園にホタルの乱舞を再現させ、鮭の自然産卵の観察地などを作ります。市民の癒しと憩いの地域づくりをめざします。



石蔵(時の蔵)周辺整備事業

▶ 下館・時の会

取り壊される予定だった時計店の石蔵が、市民の運動により、「時の蔵」として保存されています。この石蔵をさらに有効に活用するために、水道とトイレを設置します。

